

平成29年度 共同研究・研究集会 一覧

防災研究所は、「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」として多くの共同研究を実施しています。ともに共同研究を行うのは、国立大学法人、公・私立大学および国・公立研究機関の教員・研究者またはこれに準ずる方です。

今年度採択された共同研究・研究集会を以下にまとめます。

1 一般共同研究

研究課題等を公募し、防災研究所内外の研究者が協力して進める共同研究です。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29・30	温帯雪氷圏における降積雪特性と雪氷災害の変容の解明：山陰地方を対象として	河島 克久 新潟大学災害・復興科学研究所	松浦 純生
	災害拠点病院の地震時事業継続性評価メソッドの構築	大鶴 繁 京都大学大学院医学研究科初期診療・救急医学	倉田 真宏
	津波再現水槽を用いた海岸巨礫群の運動形態の解明	安田 誠宏 関西大学環境都市工学部	森 信人
	VLF帯空電観測を用いた世界的落雷位置標定ネットワークの構築による災害防止	成田 知巳 湘南工科大学工学部電気電子工学科	石川 裕彦
	機械学習を用いたレインバンドの検出と台風強度・サイズへの影響の解明	筆保 弘徳 横浜国立大学教育学部	竹見 哲也
平成29	不確実な地震予知情報が社会及び個人の防災行動に与える影響の評価	大谷 竜 国立研究開発法人産業技術総合研究所	橋本 学
平成29・30	火山灰地域における地震時流動性地すべりのカタログ作成と崩壊ハザードマップ	鈴木 毅彦 首都大学東京大学院都市環境科学研究所	千木良 雅弘
平成29	二酸化硫黄放出率の自動計測化へ向けた実証実験	森 健彦 気象研究所火山研究部	山本 圭吾
平成29・30	海洋表層ダイナミクスを考慮した大気境界層パラメタリゼーションによる極端気象現象の再現性の検討	山田 朋人 北海道大学大学院工学研究院	馬場 康之
	過去の気候条件を基準とした数値実験による豪雨及び渇水に対する地球温暖化の影響評価	石田 桂 熊本大学工学部社会環境工学科	田中 賢治
	アラル海流域における渇水災害の緩和へ向けた灌漑実態の広域モニタリング	峠 嘉哉 東北大学大学院工学研究科	田中 賢治
平成29	熊本地震の被害情報データベースを利用した住家の防災性能要素の抽出	友清 衣利子 熊本大学大学院先端科学研究部	丸山 敬

2 国際共同研究

国外の大学・研究機関の研究者が研究代表者または主要な研究分担者となり、防災研究所内外の研究者と協力して進める共同研究です。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29・30	Development of an Integrated Sediment Disaster Simulator and Application to Sediment Disaster Mitigation and Reservoir Sedimentation Management in the Brantas River Basin, Indonesia	Dian Sisinggih Faculty of Engineering, University of Brawijaya	藤田 正治
	Do earthquake fissures predispose slopes to landslides and subsequent sediment movement?	Roy C. Sidle Sustainability Research Centre, University of the Sunshine Coast	釜井 俊孝
	Source and Structural Properties of the 2015 Mw7.8 Nepal earthquake - Clarifying Seismic Hazards in the Himalaya -	Bai Ling Institute of Tibetan Plateau Research, Chinese Academy of Sciences	James Jiro Mori
	Study on Integrated Sediment Management for Reservoir Sustainability in Vietnam	Nguyen Canh Thai Thuyloi University	角 哲也

3 一般研究集会

防災学研究の関連分野における萌芽的な研究に関するテーマや興味深いテーマ等について、全国の研究者が集中的に討議するものです。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29	平成29年度 自然災害に関するオープンフォーラム「次の世代の一步を導く震災遺構と防災教育」(仮)	上村 靖司 長岡技術科学大学工学部	寶 馨
	第15回地質災害軽減国際シンポジウム	汪 発武 島根大学大学院総合理工学研究科	釜井 俊孝
	複合連鎖災害への対応力のある減災社会の形成を目指す防災ネットワーク形成のための研究集会	高木 朗義 岐阜大学工学部	畑山 満則
	激甚化する台風災害の要因解明と減災へ向けて	和田 章義 気象研究所	竹見 哲也
	リモートセンシング技術の進展と活断層・内陸地震研究	遠田 晋次 東北大学災害科学国際研究所	橋本 学
	様々な結合過程がもたらす異常気象の実態とそのメカニズム	廣岡 俊彦 九州大学大学院理学研究院	榎本 剛
	南海トラフ巨大地震災害の減災に向けたスロー地震研究の今後の可能性	杉岡 裕子 神戸大学大学院理学研究科	伊藤 喜宏 山下 裕亮
	新しい災害報道スタイルに関するマスコミ関係者と災害研究者による共同シンポジウム	近藤 誠司 関西大学社会安全学部	矢守 克也
	災害メモリアルアクションKOBEO2018	河田 恵昭 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構人と防災未来センター	牧 紀男
	スリランカの伝統的水資源施設の持続的管理の鍵を探る	小山田 宏一 奈良大学文学部文化財学科	角 哲也
火山噴火に伴う土砂移動現象についての研究最前線	権田 豊 新潟大学農学部	堤 大三	

4 長期滞在型共同研究

国内外の研究者が防災研究所に比較的長い期間(1か月から10か月)滞在して共同研究を実施するものです。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29	Creation and analysis of a large ensemble of high resolution projections of extreme wave heights for assessment of global warming impacts on extremes	Xiaolan Wang Environment and Climate Change Canada	森 信人
	Investigating Earthquake Triggering during the 2016 Kumamoto sequence -Evaluating Hazards of Multiple Events-	Margarita Segou British Geological Survey	James Jiro Mori
	Hydro-Chronological Approach for Extreme Flash Floods: Case Study of Wadi Systems in Egypt	Mohamed Saber Mohamed Sayed Geology Department, Faculty of Science, Assiut University	Sameh Kantoush

5 短期滞在型共同研究

国内外の研究者が短期間(2週間程度)滞在して共同研究を実施するものです。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29	Advanced ultra-high-resolution numerical simulation for urban turbulent airflows	Wim Vanderbauwhede University of Glasgow School of Computing Science	竹見 哲也
	地震波干渉法を用いた建造物の地震波応答の解析及び損傷度のモニタリング	仲田 典弘 University of Oklahoma	宮澤 理稔
	複数の全球モデルおよび初期値を用いた台風進路予測システムの構築	山口 宗彦 気象庁気象研究所	榎本 剛
	Strength deterioration of muddy weak layer in Jurassic strata and initiation of landslide in the Three Gorges Reservoir, China	Haibo Miao Anhui University of Science and Technology	王 功輝
大地震時の広帯域強震動予測のためのすべり速度時間関数モデルの構築	倉橋 奨 愛知工業大学工学部土木工学科	岩田 知孝	

6 地域防災実践型共同研究(一般)

研究者、専門家、行政担当者及び地域住民の協働による実践科学の共同研究で、防災研究所と地域研究コミュニティとの連携を強化することを目的としています。そのうち、防災研究所以外の研究者が研究テーマを設定し組織構成する「研究者提案型」共同研究です。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29・30	熊本県西原村における移住者と内発的復興過程の関係についての実践研究	藤本 延啓 熊本学園大学社会福祉学部	矢守 克也

7 萌芽的共同研究

自由な発想に基づく小人数の構成による研究への支援を目的とします。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29	四万十帯における脆性破砕帯の分布と深層崩壊に関する研究	荒井 紀之 京都大学大学院理学研究科	千木良 雅弘
	いわゆる第三紀層地すべりに対する深部熱水の影響評価	西山 成哲 京都大学大学院理学研究科	千木良 雅弘
	避難者の逸脱可能性と外力シナリオを考慮した津波避難ルールの脆弱性評価	中居 楓子 京都大学防災研究所巨大災害研究センター	畑山 満則
	新たな電気比抵抗測定手順の検証的研究 - 自然乾燥状態の岩石試料に対して -	鈴木 健士 京都大学大学院理学研究科	吉村 令慧
	地域防災における課題の克服に向けて - 台湾における「土石流防災専員」と行政の関係性の考察を通じて -	Lee Fuhsing 京都大学防災研究所巨大災害研究センター	矢守 克也

8 重点推進型共同研究

自然災害研究協議会が企画提案する共同研究で、自然災害や防災に関する総合的な研究や協議会として重点的に推進しようとする共同研究です。

年度	研究課題	研究代表者・所属機関	防災研担当者
平成29	自然災害科学に関わる研究者・ステークホルダーとの協働による総合防災学の活用と国際展開に関する研究	大石 哲 自然災害研究協議会議長(神戸大学都市安全研究センター)	橋本 学 川池 健司
	突発災害時の初動調査体制のさらなる強化および継続的調査研究の支援	大石 哲 自然災害研究協議会議長(神戸大学都市安全研究センター)	橋本 学 竹林 洋史

9 拠点研究(一般推進・特別推進)

共同利用・共同研究拠点として、防災研究所が特に計画的に推進する研究プロジェクトであり、災害に関する学理と防災の総合的対策を目的として、新たな研究課題の提案、研究組織、研究ネットワークなどを形成し、この研究を基礎として将来的に拠点をさらに発展させる研究です。

年度	研究課題	研究代表者(防災研)
平成29 (一般推進)	ワジにおけるフラッシュフラッドの多目的管理に関する国際研究拠点形成	角 哲也 水資源環境研究センター
	活断層で発生する大地震による地表地震断層近傍地域の強震動予測と地震被害想定の高高度化に関する研究	浅野 公之 地震災害研究部門
	降水-浸透-斜面崩壊-土石流の発生をシームレスに連結した流域土砂災害予測モデルの構築と検証	松四 雄騎 地盤災害研究部門
	熊本地震による阿蘇谷北西部における大規模亀裂群の成因の推定-多様な学問分野からの複合的な考察を通じて-	土井 一生 斜面災害研究センター
平成29 (特別推進)	海面状態の変化が汀線沿いの斜面変動に及ぼす影響に関する拠点研究	松浦 純生 地盤災害研究部門

10 特定研究集会

防災研究所の研究者がリーダーシップをとって実施する、プロジェクトの立案等の企画を目指した研究集会です。

年度	研究課題	研究代表者(防災研)
平成29	第2回排砂バイパスに関する国際ワークショップ	角 哲也 水資源環境研究センター
	第四回 斜面テクトニクス会議	千木良 雅弘 地盤災害研究部門
	第8回総合防災に関する国際会議	横松 宗太 巨大災害研究センター
	International workshop on urban inundation mitigation in east Asian countries under extreme climate conditions	川池 健司 流域災害研究センター
	有効な災害リスク・コミュニケーションの基盤となる災害情報に関する研究集会(第19回日本災害情報学会)	矢守 克也 巨大災害研究センター